

環境経営レポート



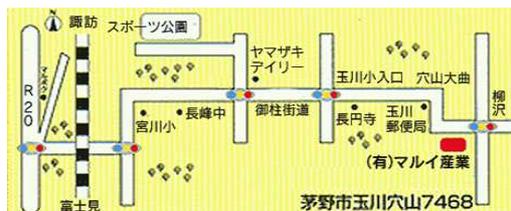
MARUI

有限
会社

マルイ産業

2024 年度

(対象期間: 2024 年11月1日～ 2025 年10月31日)



発行日: 2025年11月1日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6~8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12



環境経営方針

<環境経営理念>

八ヶ岳を望む雄大な自然の中で、聖徳大使の時代から培われてきた、イ草を活用した畳という日本の伝統文化を継承していくものとして、自然との調和、自然との共生を考え、社会に貢献できる製品の提供に努め、地球温暖化問題に自主的、積極的に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制に対して法令遵守します。
2. 電力・化石燃料の消費に伴うCO2搬出量の削減に取り組みます。
3. 製品製造並びに、事業活動において発生する廃棄物を可能な限り、再資源化することに取り組みます。
4. 製品を製造するにあたり、トレーサビリティを確立し、安心・安全な製品の提供に努めます。
5. それぞれのお客様に適した長寿命・高品質な製品の提供に努めます。
6. お客様のニーズに合った製品を提供するにあたり、環境への負荷をご理解いただくことと選択の一要素として環境側面を明確にすることに取り組みます。
7. 工場周辺の清掃活動及び、社会貢献活動の推進をします。



制定日：2012年6月12日

改定日：2017年5月1日

代表取締役社長 伊藤 明

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社マルイ産業
代表取締役社長 伊藤 明
- (2) 所在地
本 社・工 場 長野県茅野市玉川7468
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 豊・建具製造部 成澤 伸一 TEL 0266-79-3257
URL <http://www.marui-sangyo.com>
- (4) 事業内容
豊・建具製造・販売、内装工事(襖・障子張替、クロス張替え、塗装、ハウスクリーニング)
- (5) 事業の規模
売上高 10000 万円

	本 社・工 場
従業員	名 13 名
延べ床面積	m ² 750 m ²
- (6) 事業年度 11 月 1 日 ~ 10 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社マルイ産業
対象事業所： 本 社・工 場
対象外： なし
活動： 豊・建具製造・販売、内装工事(襖・障子張替、クロス張替え、塗装、ハウスクリーニング)

□事業の紹介

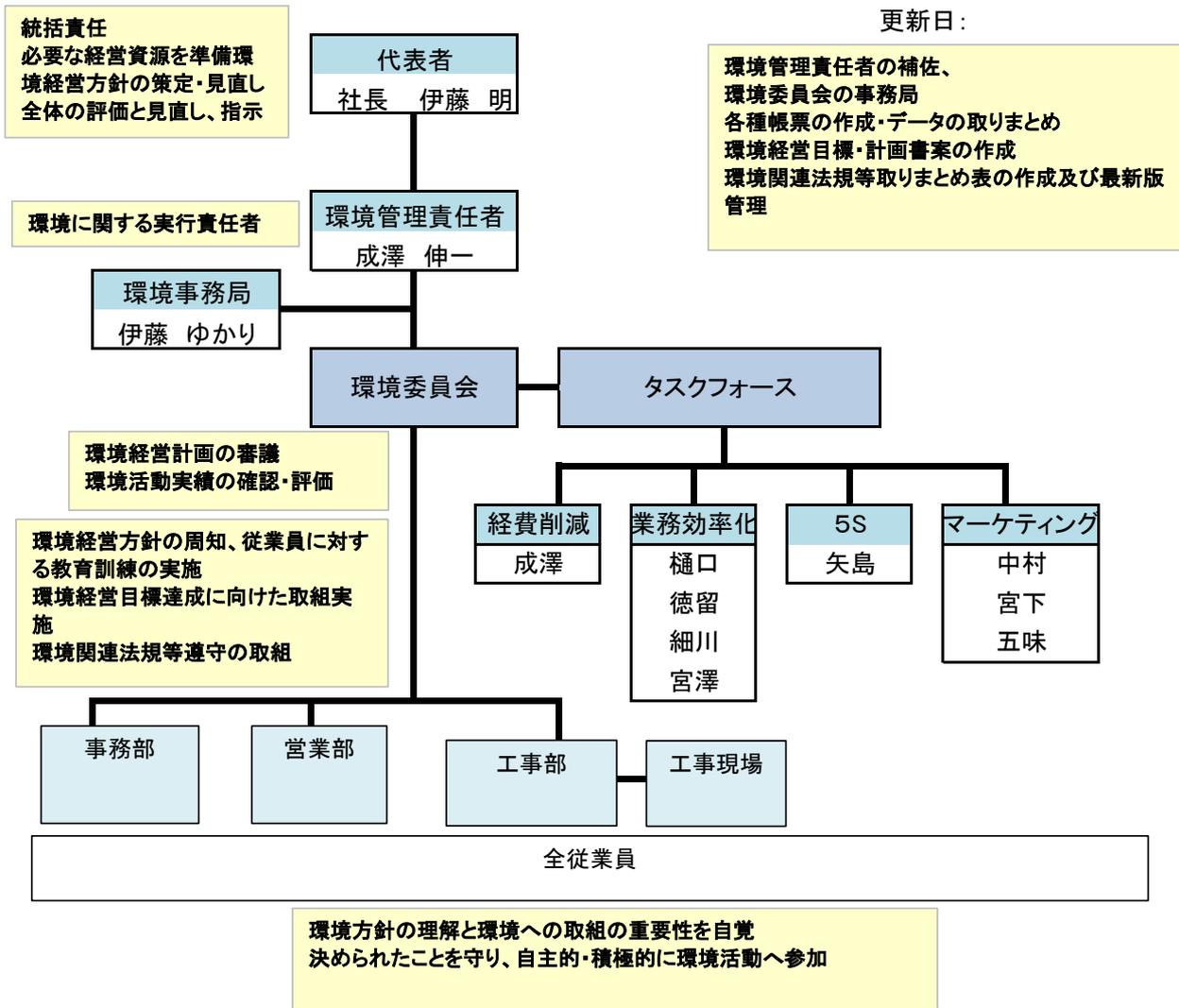


創業 明治十五年
伝統の手仕事を守りながら、最先端機械を積極的に導入し、お客様に安心と満足をお届けできるよう努めております。

お取扱いしている商品

 表替え	 新畳	 裏返し	 ヘリなし琉球畳	 置き畳	 カラー畳
 ふすま	 障子	 クロス	 網戸	 カーテン	 プチリフォーム

環境経営組織及び役割・責任・権限



主な環境負荷の実績

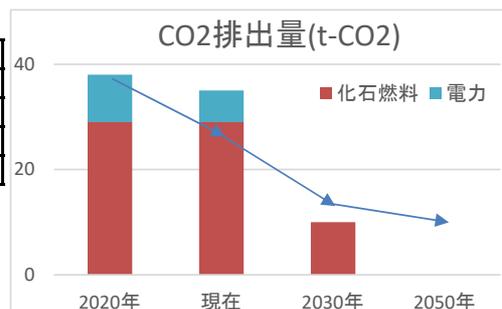
項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	34,771	31,758	29,280
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	8,250	6,480	5,930
産業廃棄物排出量	kg	29,270	12,880	15,710
水使用量	m ³	60	61	54
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.349	0.349	0.349

kg-CO₂/kWh

※負荷の実績は工事現場を含む

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位:t-CO ₂			
	化石燃料	電力	対策
2020年	29	9	
現在	29	6	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	10	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



環境経営目標及びその実績

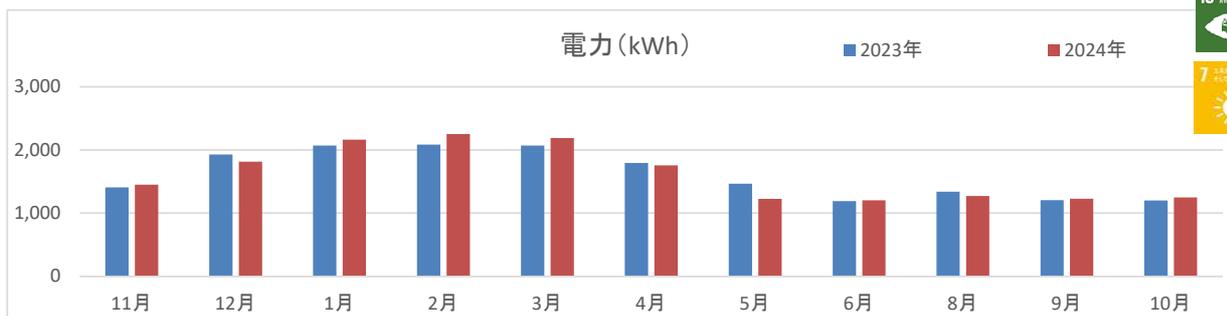
項目	年度	2023年			2024年		評価	2025年	2026年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)			
電力による二酸化炭素削減	kWh	16,241	16,079	12,813	○	15,916	15,754		
	基準年度比	2023年	99%	99%		98%	97%		
売上高原単位	kWh/千円	0.161	0.159	0.122	○	0.157	0.156		
	kg-CO ₂	5,668	5,611	4,472		5,555	5,498		
売上高原単位	kg-CO ₂ /千円	0.056	0.056	0.043	○	0.055	0.054		
	基準年度比	2023年	99%	79%		98%	97%		
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,065	7,984	6,992	○	7,904	7,823		
	基準年度比	2023年	99%	87%		98%	97%		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	18,025	17,845	17,817	○	17,665	17,485		
	基準年度比	2023年	99%	99%		98%	97%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	31,758	31,441	29,280	○	31,123	30,806		
一般廃棄物の削減	kg	6,480	6,350	5,930	○	6,350	6,286		
	基準年度比	2023年	98%	92%		98%	97%		
産業廃棄物の削減	kg	12,880	12,751	15,710	×	12,622	12,494		
	基準年度比	2023年	99%	122%		0.98	0.97		
建設副産物の再資源化率の向上	%	0%	70%	100%	○	75%	80%		
水道水の削減	m ³	61	61	54	○	61	61		
	基準年度比	2023年	100%	89%		100%	100%		
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理		
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)							

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

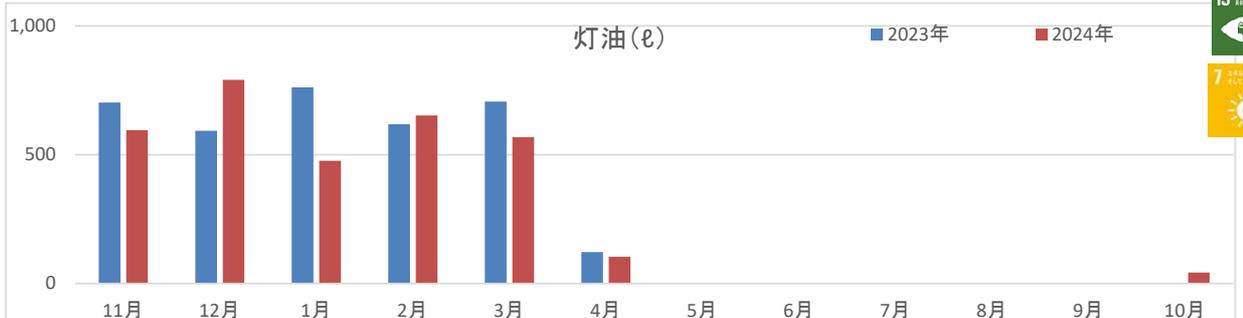
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】 目標達成率 79% 【取組】 昨年度太陽光パネル導入、加えて4月末より照明の蛍光灯をLEDに交換したことにより大幅に削減している。今期の数値が来期以降の物差しとなるので注視していきたい。
原単位目標	○	
・製造ミス等による無駄な機械稼働の削減	○	
・製造ミス等による無駄な照明使用の削減	○	
・3Sの推進による照明の効率化	○	



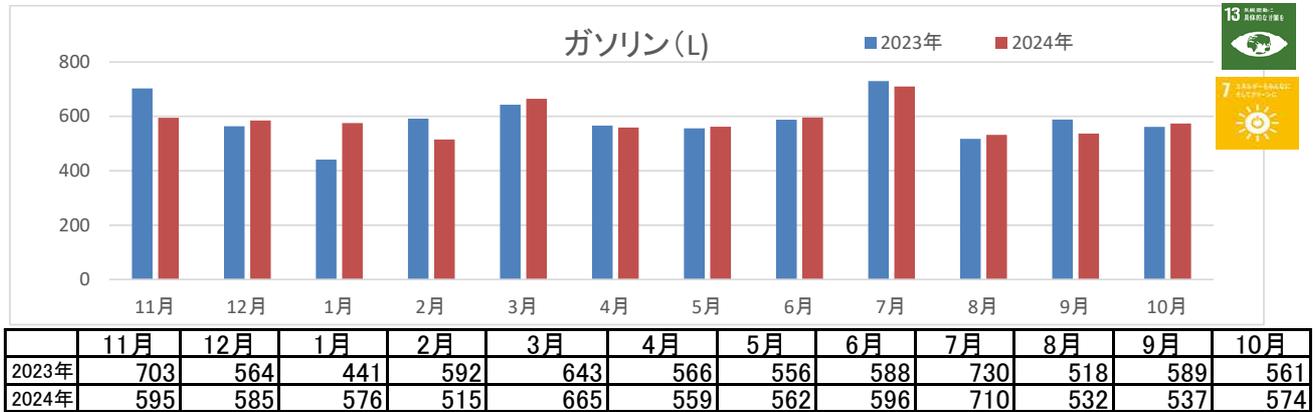
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2023年	1,410	1,930	2,072	2,086	2,072	1,795	1,467	1,191	1,291	1,338	1,204	1,201
2024年	1,452	1,817	2,164	2,252	2,190	1,759	1,226	1,202	1,422	1,270	1,227	1,248

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】 目標達成率 87% 【取組】 今期よりスタートしたタスクフォースの経費削減部門からの呼びかけにより社員全体に周知できており、会社全体で節約に取り組めたと思われる
・温水温度の適正化	○	
・暖房機器のフィルター清掃	○	

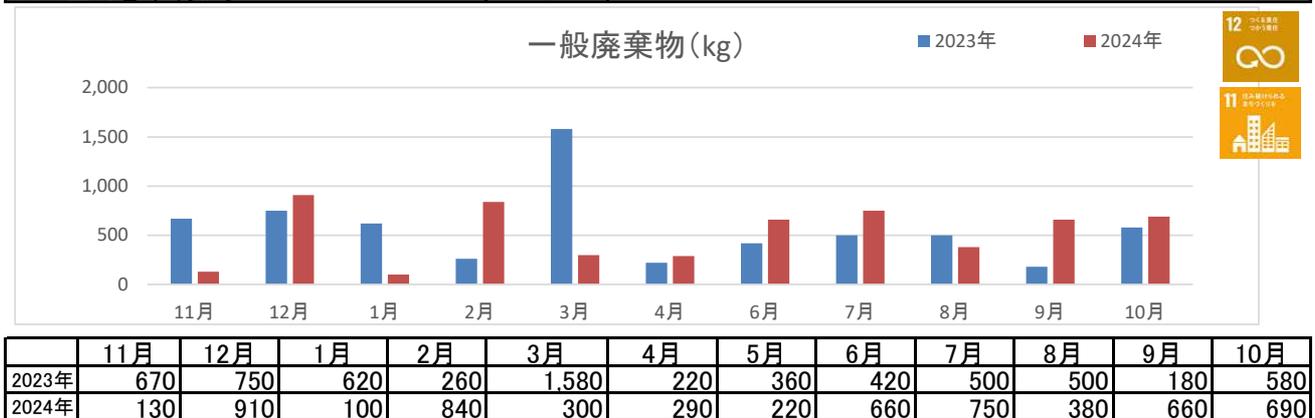


	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2023年	703	593	762	618	707	122	0	0	0	0	0	0
2024年	595	791	476	653	568	104	0	0	0	0	0	43

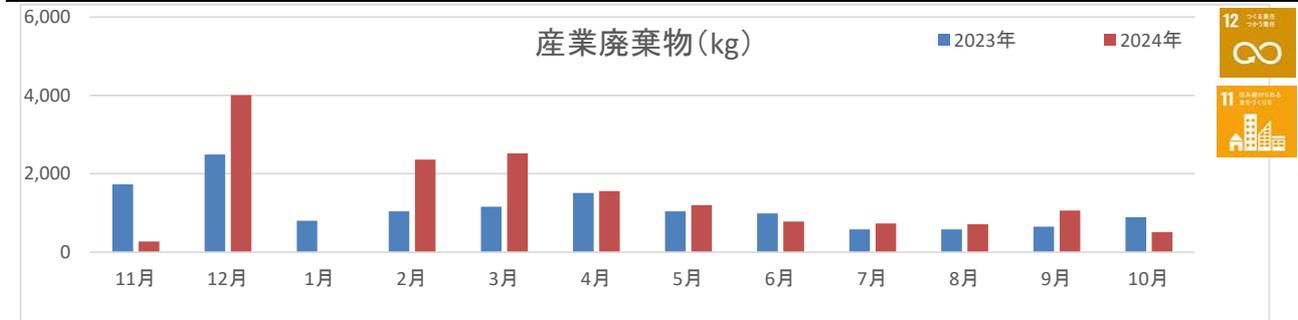
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】 目標達成率 99% 【取組】 基準年度とほぼ同じ数値で推移してきた。社員全体のエコドライブに対する意識が感じられたので、来期も継続して呼びかけを行ってきたい
効率的な移動	○	
クレームによる無駄な移動の削減	○	
法定速度の厳守	○	



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】 目標達成率 92% 【取組】 ゴミの分別ができていた。来期も継続していきたい
作り直しによる廃棄物の削減	△	
古廃棄物の配布	○	
古紙の再利用の徹底 FAX全てを印刷しない	○	



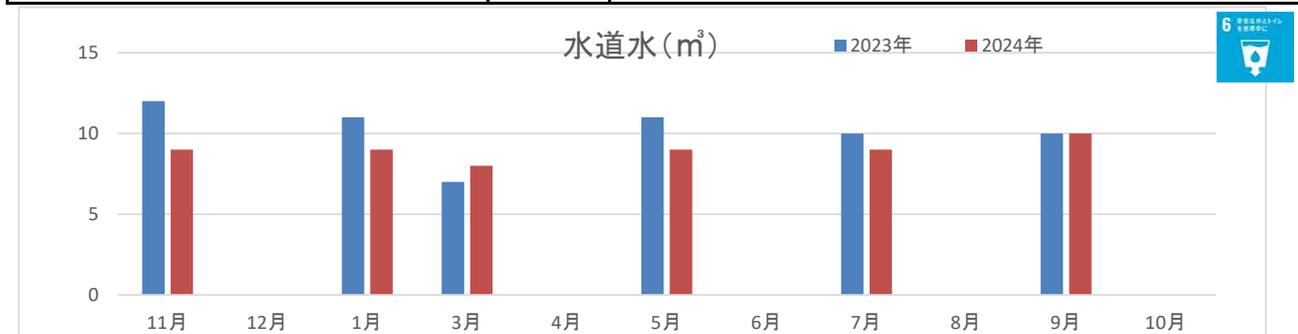
産業廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	【評価】 目標達成率 122% 【取組】 各年の古置処分量の増減で大きく左右されることから許容範囲内と捉えている。今年度はインシュレーションボードの分別があまりできていなかったように思われる。
作り直しによる廃棄物の削減		△	
インシュレーションボードを固形燃料としてリサイクル		×	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2023年	1,730	2,490	800	1,040	1,160	1,510	1,040	990	580	580	650	890
2024年	270	4,010	0	2,360	2,520	1,560	1,200	780	730	710	1,060	510

建設副産物の再資源化率の向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	【評価】 再資源化率100% 【取組】 都度、産廃業者にて処理状況確認。継続していく
・分別の徹底		○	
・再資源化先の開拓		×	

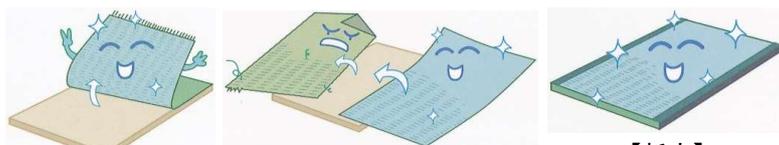
水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	【評価】 目標達成率89% 【取組】 漏洩確認問題なし
漏水確認		○	



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2023年	12	0	11	0	7	0	11	0	10	0	10	0
2024年	9	0	9	0	8	0	9	0	9	0	10	0

化学物質の適正管理		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	適正管理
・化学物質の適正管理		○	

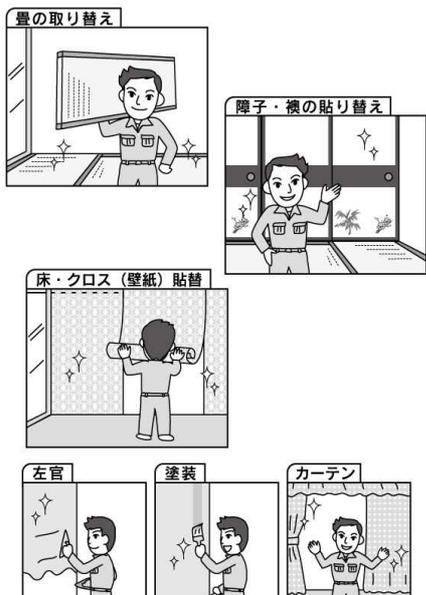
各事業所の取組紹介



【裏返し】
お使いの畳表を
ひっくり返して綺麗な裏面を
使用し張替え

【表替え】
古畳表と新しい畳表を
取り替えます

【新床】
お部屋の寸法を測り
新しく畳を作成いたします



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2024年度 特に問題なし

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震の発生	
<p>■実施日： 2025年6月</p> <p>■参加者： 全員</p>	<p>■実施場所： 工場内</p> <p>■実施内容： ・避難訓練</p>
<p>■評価： 問題なし</p>	<p>手順書の変更の必[!] <input type="checkbox"/>あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>
<p>■実施状況の様子 (予防)</p> <p>① 畳を高く積まない</p> <p>(社内連絡)</p> <p>① 一斉放送にて地震発生を知らせる 総務課 内線76番 消防署 119番</p> <p>② 部門長は安全を確保しつつ、火災、漏水、漏電等の有無の確認をし、発見し次第総務に連絡する</p> <p>(避難・誘導)</p> <p>① 落下物等に注意しながら、自身の安全を第一に速やかに工場南側駐車場に避難誘導する</p> <p>② 部門長は部員の点呼を取り無事有事の確認をする</p> <p>③ 部門長は点呼結果を社長、環境管理責任者に報告する</p> <p>④ 蛍光灯等落下物に備えゴザなどで頭を防御する</p>	



代表者による全体の評価と見直し・指示

【前回の指示への取組結果】

1. 意識づけを変えるために、タスクフォース型の課題解決組織を結成し、それぞれの課題について取り組んできたが、個々人の意識を変えるまでにできなかった。
2. 太陽光発電の機械故障が発見できなかったが、今後各指標から異常状態を検知できる仕組み作りが必要となった。
3. 太陽光発電による効果が明確になり、効果をみえるかできたことは大きい。エコカー導入に関しては、大きな効果が出ておらず、今後も追跡していく必要がある。

<情報>	<見直し・指示>
<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) 燃料高騰は旧暫定税率廃止によって、多少緩和したが、まだまだ高水準であり、材料費の高騰も止まる気配がない。価格転嫁をしてきているが、販売数量の落ち込みにもつながっており、総額では売り上げ達成しているものの、数量的には減少している。 経費削減意識を全社員がもって対応していける</p>	<p>◇環境方針 環境方針については見直しの必要はない</p>
<p>◇環境経営目標・計画の達成状況 売上げが十分伸びていない上に、経費増などの要因により、利益減となっている。 良い対策がなかなかないのが実情であるが、経費削減、生産効率の向上、Fコスト削減など、できることを地道に進めるしかない。</p>	<p>◇環境経営目標・環境経営計画 今取組みを始めている、タスクフォース型課題解決を活用し、経費削減、Fコスト削減、生産効率の向上など、個々人が意識をもって取り組むようにして、課題解決を図ってほしい。 個々人が自ら何ができるか考え行動するようになることが、会社全体として大きな成果に結びつくため、EA21の活動を通じて意識改革を進めて欲しい。</p>
<p>◇その他 昨年同様、EA21の活動への理解を深めてきていることは評価できるが、まだ、個々人が率先して意識的に行動することができていない。</p>	<p>◇実施体制他 タスクフォース型課題解決は初年度うまくいかなかったが、次年度はこれをうまく定着させ、成果に結び付けてほしい</p>
<p>ほぼ目標達成できているものの、産業廃棄物は仕事の量・内容によって変動が大きく、別の指標を見つけていく必要がある。活動を始めてからの課題であるが、良い指標を作れておらず、引き続き検討を進めてほしい。 Fコストに関しては、大きくなってきており、対策をより具体化にして、Fコストを無くして行って欲しい。 また、経費削減は価格転嫁をして対応しているが、価格転嫁による販売数量の減少があるため、普段の業務の見直しなどを進めながら全社員一丸となって取り組んでいこう、EA21の活動によって意識づけ・業務改善に結び付けてほしい。 生産性向上によるコスト低減も、業務見直しなどを通じて実現してほしい。 EA21の活動をつづけてきたことを、実質的な成果に結び付けられるよう、今後もブラッシュアップを繰り返してほしい。</p>	



- | | | |
|-----------|--|--|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

今年度の活動紹介

11月

【茅野市まちぜみ】参加
飾り畳コースター作り体験

12月

小物ブランディング計画スタート
ランディングページ強化開始

1月

タスクフォース始動

2月

小物漆塗りテスト開始

4月

照明 蛍光管→LEDへ交換



6月

【5日～8日 マルイマルシェ】
タスクフォース経過発表会

7月

長野市クラフトフェア出店

8月

建設産業フェア 出店

10月

ケヤキフェス参加・出店

【茅野東部中学校キャリアシンポジウム】参加

【茅野市まちぜみ】参加
飾り畳コースター作り体験

17日～19日 台ヶ原宿市出店